

温室効果ガス排出量検証報告書

グローバルウェーハズ・ジャパン株式会社 御中

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、グローバルウェーハズ・ジャパン株式会社が作成した「2022年全社 GHG 排出量まとめ」(以下、「同社算定報告書」という。)に記載された2022年の温室効果ガス(GHG)排出量が、ISO14064-1:2018並びに同社により作成された「全社 GHG 排出量算定規程」(以下、「同社算定ルール」という。)に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った(2022年とは、2022年1月1日~2022年12月31日までの期間をいう)。検証の目的は、同社算定報告書を客観的に評価し、同社の GHG 排出量に係る情報の記載の信頼性をより高めることにある。

2. 実施した検証の概要

当機構は、「ISO14064-3:2019」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲は、直接的な GHG 排出量(エネルギー起源 CO₂、HFCs)、購入したエネルギー起源の間接的な GHG 排出量、調達及び出荷の輸送による間接的な GHG 排出量、購入した製品等並びに事業から出る廃棄物由来の GHG 排出量(以下、「カテゴリ 1、2、3、4」という。))、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は総排出量における5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲は、グローバルウェーハズ・ジャパン株式会社(本社・新潟工場、徳山工場、関川工場、小国結晶センター、東京事務所、九州事務所)並びに関連会社(エム・イー・エム・シー株式会社)の国内7事業所とした。対象活動範囲について顧客が指定する2事業所(関川工場及びエム・イー・エム・シー株式会社(宇都宮工場))をサンプリングして現地検証を行った。現地検証では、算定対象範囲並びに活動、GHG 排出源、モニタリングポイントの確認、算定シナリオとアロケーションの確認、算定集計体制の確認並びに排出量データについて、根拠資料との突き合わせを行った。

3. 検証の結論

同社算定報告書に記載されるグローバルウェーハズ・ジャパン株式会社の2022年の GHG 排出量カテゴリ 1、2、3、4 は、ISO14064-1:2018 並びに同社算定ルールに準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

GHG 排出量 (t-CO ₂ e)	カテゴリ 1	カテゴリ 2	カテゴリ 3	カテゴリ 4
	8,581	131,629	3,039	54,107

4. 留意事項

同社算定報告書の作成責任はグローバルウェーハズ・ジャパン株式会社にあり、GHG 排出量検証の責任は当機構にある。グローバルウェーハズ・ジャパン株式会社と当機構の間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地

一般財団法人日本品質保証機構

理事 浅田 純 男

